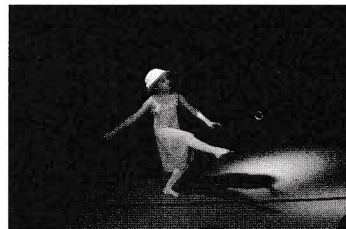


AMUSEMENT SQUARE stage



都会では、夕方になると、ビル
の大きなショーウィンドーを鏡の
かわりにして踊るために若者が集
まってくる、という光景が増えて
いるそうである。八戸でも、市庁
舎の前で踊っている姿を目にした
ことがある人も多いのではないだ
ろうか。学校の部活動や既成の組
織に所属せず、自らの居場所をそ
の身体一つで確保するかのよう
に踊る彼らを、どう受けとめてい
たらよいのか。

「ダンス・プロジェクト」は、ダ
ンスを愛する若者が、自分たちで
振り付けした作品を踊るという企
画である。市内でモダンダンスス
タジオを主宰する昆賀子先生の呼
びかけに集まった、小学生から大
学生まで総勢17名によるステージ
である。

最年少は小学校4年生。テーマ
にも衣装にも彼らの「今」が凝縮
され浮き彫りにされている。

何が彼らをダンスへと向かわせ
るのか。――曲から受けるイメー
ジ。身体の中から湧き出る言葉に
ならない感情。そして何よりリズ
ムに合わせて踊りたいという根源
的欲求。

彼らはこんなに若い頃から、何
の迷いもなく、一心に素直にそれ
を表現できる。あるいは体も心も
成長期にあるからこそ、であろ
うか。しなやかに伸びる四肢の動き
に見とれつつ、自分を知り自分を

表現する方法としてダンスと出会
うことができた彼らをうらやまし
く思う。

今回の企画には、八戸東高校の
生徒も6名出演させていただ
いた。そのうち4人は昆賀先生にダン
スを指導していただいている表現
科の一期生である。八東祭で踊る
先輩の姿に憧れて、全く経験のな
かった生徒たちがダンスグループ



を結成。表現の場を求めて外へ出
て行くまでになった。昆賀先生が今
回の企画を立ち上げるきっかけに
は彼らのことがあったとも伺って
いる。その先輩が卒業するため、
「NEXT」はメンバー6人の最
後のステージであった。また表現
科の生徒は、照明・音響やアナウ
スなどの裏方としても参加させて
いただき、現場でなければできな
い細かな指導をしていただいた。

昆賀千子・吉田彩恵子
の「一青想」は、リング
をモチーフに青森のイメ
ージも取り入れながら、
それに流されることなく
自分たちの思いをしっか
りとした構成で表現し、
高校卒業後も専門に学ぶ
者として、後輩たちに道
を示した。

杉澤朋美は、八戸東高
校の卒業生でもあり、母
校で昆賀先生とともに非常
勤講師として表現科のダ
ンスの授業を受け持ちな
がら、新体操部やうみね
こジュニアの指導に努め

演劇空間スペースベン

「Dance Project」 若者の表現する場

〈文／八戸東高等学校教諭・高橋美和子〉



こんなに近くでダンスを見たの
は初めてという声も多く、踊り手
の息づかいや視線の届く距離での
熱い空間を共有できたのは、観客
にとっても得がたい経験だったと
言えよう。

学生だからとブランド化するこ
となく、また所属が明らかではな
いからと排除することなく、地域
で彼らを育てていくような企画が
増えていくことを期待する。

てきたが、この春より青森に就職
が決まり新たなスタートを切るこ
とが決まっていた。表現科の立ち
上げメンバーの一人である彼女
の、いわば旅立ちのステージでも
ある。「Cavatina」は表現科のダ
ンスとして八東祭のステージ発表
のために仕上げた思い出の作品。
教えるとともに息のあった踊りを
みせた。ソロの「ア・タ・タ・
カ・ナ・モノ」では、自らの掌で

つかんだモノををてらいもなくス
レートに表現した。何かがふっき
れたかのように、うつすらと笑み
を浮かべながら踊る彼女の表情が
秀逸であった。

ほかにも出演者の中には、ダン
ス部のある高校や、芸術・表現関
係の大学に進学する生徒もおり、
この日はそれぞれの出発の日とな
ったに違いない。

6月のFriday Amusement Negative Shop

- 6月3日(第591回)
「rakuda1gouアコースティックライブ」
料金：特別番組1,000円
- 6月10日(第592回)
三浦哲郎作品集 リーディングvol.21
- 6月17日(第593回)
三浦哲郎作品集 リーディングvol.22
- 6月24日(第594回)
三浦哲郎作品集 リーディングvol.23

※特別番組以外全て午後7
時30分～、料金500円。チ
ケットはスペースベンに
て販売。スペースベンの
上演内容は、ホームペ
ジまたはメールマガジ
ンで確認下さい。

tsutomu_tanaka 070-5095-2028
スペースベンHPアドレス <http://spaceben.com/>
Eメールアドレス owner@spaceben.com

■演劇空間 スペースベン
八戸市柏崎1-11-8
0178-43-9876 FAX 03-5908-9120